



1 全国大会の開会式。入場行進する白石中の生徒 2 演技前日、全国大会の会場前で記念撮影をする両校の生徒。緊張をほぐすためにみんなで「はい、ポーズ！」 3 全国大会での東中の演技 4 全国大会の開会式。入場行進する東中の生徒 5 キューブで練習に励む白石中の生徒。練習から声を掛け合い、心をひとつにした

後列(左から)引地千枝美東中顧問、長田望愛さん(2年)、大浦美咲さん(3年)、安井佑季さん(2年)、菊地音々さん(3年)、柴田佐和子コーチ、菊地ののかさん(1年)、紺野美沙さん(2年)、氏家明香咲さん(2年)、佐藤依緒さん(1年)、井上真理白石中顧問  
前列(左から)本多和宏東中顧問、高橋莉菜さん(1年)、斎藤未希さん(1年)、佐竹美咲さん(1年)、日下イサヲ白石市体操協会会長、小片菜伊香さん(1年)、針生樹里さん(1年)、佐藤瑞穂さん(1年)



キューブ新体操教室  
しばたさわこ  
柴田佐和子コーチ

みんなが気持ちをひとつにして頑張りました。今回の経験を生かしさらなる成長を期待しています

東北地区代表として、全国大会に白石市から2校出場できうれしく思います。山口県まで新幹線で8時間という長時間の移動でしたが、全国大会に出場できる喜びを感じながら、楽しんで移動することができました。初日は、会場の雰囲気に圧倒され、普段通りの演技ができませんでした。徐々にペースを取り戻し、大会当日は集中して取り組むことができました。

白石中と東中は、普段からとても仲が良いので

すが、練習になると良い意味でライバル心を持ち、お互いに負けたくないという気持ちを持って練習していたので、それが結果につながったのだと思います。白石中も東中も全員が気持ちをひとつにし、最高の演技を披露してくれました。そんな子どもたちを心から誇りに思います。

全国のレベルは高く、全力を出しても上位に入することは至難の業ですが、今回の経験を生かしさらに成長してくれることを期待しています。

## 華麗に羽ばたいた14の心

白石中学校・東中学校「新体操部」がダブルで全国大会に出場！

全国の壁は高かったが、自分たちの持てる力を存分に発揮！

The 41st. All Japan junior high school sports festival

Rhythmic Gymnastics 2010 YAMAGUCHI



東中学校・3年  
おおaura みさき  
大浦 美咲さん

最後の大会で貴重な経験ができました

最後の大会で、みんなで全国に行くことができ良かったです。演技にも満足しています。東北大会では、ほかの中学校も上手だったので、全国が決まったときはうれしくて泣きました。この経験を生かして、高校でもいろいろな場面で頑張っていきたいです。後輩たちには、来年もぜひ全国目指して頑張してほしいです。

今までで最高の演技ができました

最後に笑顔で終わることができて良かったです。結果は結果ですが、自分たちの演技ができました。2年前に出場したときは1年生で、無我夢中でした。今年は私たちが最後で、後輩も3年のために頑張ろうとしてくれて、その気持ちに応えたいと思います。今後はやる気があるので、来年も大丈夫だと思います。



東中学校・3年  
きくち ねね  
菊地 音々さん



白石中学校・2年  
こんの みさ  
紺野 美沙さん

新しい種目でも優勝を目指します

新体操をやっている楽しい瞬間は、ノーミスで満足行く演技ができたとき。全国が決まったときは思わず泣いてしまいました。全国の人たちはみんな上手でしたが、自分たちは満足のいく演技ができました。悔いなく終われたので良かったと思います。新人戦から新しい種目になるので、優勝して次につなげていきたいです。

来年も良い結果を残して全国へ！

全国大会の出場が決まったときは、正直ビックリしたし、うれしかったです。結果は21位でしたが、自分たちの中で一番良い演技ができたので悔いはありません。そして、とても良い経験になりました。来年も地区大会・県大会・東北大会と良い結果を残して、全国大会に出場したいです。



白石中学校・2年  
うじいあ かさ  
氏家明香咲さん

普段は、「キューブ新体操教室」でもに厳しい練習に励む彼女たち。お互いに励まし合いながら成長してきた。「良き友であり良きライバル」という関係がお互いを成長させ、まさに相乗効果を生み出した。

その結果、宮城県大会で白石中が優勝、東中が準優勝と、東北大会に出場できる2枚の切符を白石勢が独占。東北大会でも

### 良き友・良きライバル

5人1組となって演技する団体。「2分30秒」という限られた時間の中で、音楽に合わせて体も動かしながらリボンも動かさなければならぬ。個人とは異なり、演技の同調性も求められ、少しのミスが大きく採点に影響する非常に難しい競技だ。

8月19日から21日、山口県スポーツ文化センターで開催された第41回全国中学校新体操選手権大会。最終日の21日、女子団体競技(リボン5)に、本市から白石中と東中がダブルで出場するという快挙を成し遂げた。東中は平成20年に続き2年ぶり2度目、白石中は初の全国大会出場となった。

2分30秒にすべてをかける

今回の経験は、彼女たちにとって貴重な経験となったのではない。全国大会に出場した選手のうち、東中の3年生2人は引退となる。そして、後輩は先輩の思いを受け継ぎさらなる飛躍を目指す。引退する選手も次の目標に向かって、それぞれにステップアップしてほしい。

白石中・東中 新体操部！  
頑張れっ！

### 次なるステップへ

また、出場した10人の選手だけでなく、バックアップメンバーとして帯同した4人も、選手が演技に集中できるように最大限サポートした。片方の中学校だけでは達成できなかった、14人いたからこそ達成できたことかもしれない。

ノーミスで演技を終えた両校は、白石中が優勝、東中が準優勝という快挙を達成した。

全国大会では、出場した25校中、白石中が21位、東中が24位と、結果だけを見れば全国の壁は高かったかもしれない。しかし、会場の雰囲気にも飲まれることなく、ほぼノーミスで演技を終え自分たちの持てる力を存分に発揮した。演技を終えた彼女たちには、笑顔が満ちあふれていた。